

墨田区子ども読書活動推進計画（第4次）  
（案）

（令和2年度～令和6年度）

令和元年11月  
墨田区教育委員会



## 目 次

	頁
第1章 第4次計画策定にあたって	
第1 計画策定の趣旨	・・・ 1
第2 本計画の位置づけ	・・・ 1
第3 本計画の対象者	・・・ 1
第4 本計画の期間	・・・ 2
第5 本計画の推進	・・・ 2
第2章 これまでの取組の成果及び課題	
第1 家庭・地域等における子どもの読書活動の推進	・・・ 3
第2 学校における子どもの読書活動の推進	・・・ 6
第3 資料等の充実による子どもの読書活動の推進	・・・ 8
第4 広報・啓発等による子どもの読書活動の推進	・・・ 9
第5 到達すべき数値目標・実績	・・・ 11
第3章 子ども読書活動推進計画（第4次）	
第1 基本方針	・・・ 12
第2 基本目標	・・・ 13
第3 発達段階に合わせた施策	・・・ 14
第4章 子ども読書活動推進のための施策	
第1 乳幼児期の施策	・・・ 15
第2 小学生期の施策	・・・ 19
第3 中学生・高校生期の施策	・・・ 24
第4 特別な支援を必要とする子どもの施策	・・・ 31
第5章 家庭、地域及び学校等での取組を支援するための施策	
第1 乳幼児期の読書活動を支援する施策	・・・ 35
第2 小学生期の読書活動を支援する施策	・・・ 36
第3 中学生・高校生期の読書活動を支援する施策	・・・ 38
第4 特別な支援を必要とする子どもの読書活動を支援する施策	・・・ 39

## 第1章 第4次計画策定にあたって

### 第1 計画策定の趣旨

本区では、子ども読書活動を推進するために、平成17年3月に「墨田区子ども読書活動推進計画」（平成17年度～平成21年度）を策定し、平成22年3月に同計画（第2次）、平成27年3月に同計画（第3次）を策定し、家庭、地域、学校、図書館等が連携・協働しながら、子どもの読書が活発に行われるように、読書活動の推進に取り組んできました。

今年度をもって、同計画（第3次）の期間（平成27年度～平成31年度）が終了することから、新たに「墨田区子ども読書活動推進計画（第4次）」（以下「本計画」という。）を策定します。

この間、平成30年墨田区議会第4回定例会において、「墨田区子ども読書活動推進条例」（以下「条例」という。）が制定されました。この条例は、基本理念のほか、家庭、地域、学校での取組、学校図書館の整備と区立図書館の取組を定めています。

本計画は、条例の規定に基づくとともに、第1次～第3次の計画における取組を受け継ぎ、子どもたちが自主的に読書活動を行うことができる環境の整備・充実を進め、総合的・体系的に推進するための施策を示します。

### 第2 本計画の位置づけ

本計画は、「子どもの読書活動の推進に関する法律」（平成13年法律第154号。以下「法」という。）第9条第2項及び条例第9条の規定に基づく計画であり、「子供の読書活動の推進に関する基本的な計画」（平成30年4月、文部科学省）及び「第三次東京都子供読書活動推進計画」（平成27年2月、東京都教育委員会）を基本として、墨田区の現状を踏まえ、今後5年間にわたる子どもの読書活動の具体的な施策を明らかにするものです。

### 第3 本計画の対象者

おおむね18歳以下の子ども

## 第4 本計画の期間

令和2年度から令和6年度までの5年間

## 第5 本計画の推進

### 1 推進体制

教育委員会が進める各種の本計画に基づく事業の推進について、随時、墨田区図書館運営協議会（以下「運営協議会」という。）に意見を求め、効果的かつ効率的に取り組みます。

### 2 協力体制

本計画の実施にあたり、区立図書館・図書室のほか、学校、地域力支援部、子ども・子育て支援部、保健センター等の関係部署が互いに連携・協力し、積極的に取組を進めると同時に、家庭や地域をはじめ子どもの読書活動の推進に関わる方々と連携し、計画の協働化を図ります。

### 3 本計画の検証

本計画の進捗及び効果を測るため、施策と目標値を設け、毎年度、実施状況と成果について検証し、今後の計画推進に反映させます。

実施状況等については、条例第10条第3項の規定に基づき公表します。

#### ※検証の基準について

各年度の目標値は、計画年度（5年間）で目標値を達成できる値とします。

- ・「目的達成」計画最終年度の目標値を達成している。
- ・「順調に推移」各年度の目標値を達成している。
- ・「改善・努力が必要」各年度の目標値を下回るが、計画策定時より向上または向上が見込まれる。
- ・「達成見込なし」計画最終年度の目標達成が見込めない。

## 第2章 これまでの取組の成果及び課題

前計画の「墨田区子ども読書活動推進計画（第3次）」では「家庭・地域等」、「学校」、「資料等の充実」、「広報・啓発等」の4つの項目について次の取組を行い、成果と課題が明らかになりました。

### 第1 家庭・地域等における子どもの読書活動の推進

#### 1 家庭

##### (1) 取組

- ア 保護者への意識啓発
- イ 読書のきっかけづくり事業の推進

##### (2) 成果

- ア 保護者への意識啓発については、家庭の読書に関する講演会の実施や読書の紹介冊子を配布することにより、区立図書館・図書室の乳幼児の貸出者数及び貸出冊数が増加しました。

乳幼児（0～6歳）	平成25年度	平成30年度	増減
貸出者数[人]	11,095	16,627	49.8%増
貸出冊数[冊]	53,136	67,129	26.3%増

- イ 読書のきっかけづくりとして、おはなし会や読み聞かせを定期的を実施することにより、参加者が増加しました。

図書館でのお話し会	平成25年度	平成30年度	増減
参加者数[人]	6,820	9,246	35.5%増

##### (3) 課題

- ア 読書習慣の形成を図るためには、保護者が読書に関する理解をより深めていけるような取組と支援が必要です。

### 2 施設（保育園、幼稚園、児童館、子育てひろば等）

#### (1) 取組

- ア 読み聞かせ、お話し会等の実施
- イ 図書の充実

#### (2) 成果

- ア 施設でのお話し会の開催数が増加しました。

施設でのお話し会	平成25年度	平成30年度	増減
開催数[回]	42	77	83.3%増

イ 施設での図書の充実を図り、団体貸出の貸出冊数が増加しました。

団体貸出	平成 25 年度	平成 30 年度	増減
貸出冊数[冊]	10,365	12,793	23.4%増

(3) 課題

ア 良質な読み聞かせの機会を増やすためには、日頃から子どもと接する施設職員の読み聞かせ技術の向上が必要です。

イ 施設での読書活動を進めるために、施設の状況に合わせて団体貸出の方法を工夫するなど、施設の図書を更に充実する必要があります。

3 区立図書館・図書室

(1) 取組

- ア 事業の充実
- イ 地域人材の育成
- ウ 関係機関・地域等との連携・協力
- エ 学校図書館との連携・協力
- オ 児童図書等の再利用の促進

(2) 成果

ア 事業の充実については、お話し会等の行事、小学生の図書館見学、中学生・高校生の職場体験を実施することにより、参加者が増加しました。

事業名	平成 25 年度	平成 30 年度	増減
お話し会 開催数[回]	311	444	42.8%増
参加者数[人]	6,820	9,246	35.5%増
職場体験 参加者数[人]	71	141	98.6%増
図書館見学 開催数[人]	861	1,791	108%増
児童書及び絵本の貸出冊数[冊]	520,000	652,889	25.5%増

イ 地域人材の育成については、学校読み聞かせボランティア養成講座の開催数を増やすとともに、平成30年度から絵本の理解講座を実施し、読書を担う地域の人材育成を進めました。

事業名	平成 25 年度	平成 30 年度	増減
読み聞かせボランティア養成講座 開催数[回]	2	8	300%増
絵本の理解講座（新規）開催数[回]	—	1	—

ウ 関係機関・地域等との連携・協力については、国・都等の図書館との相互貸借による資料の充実を図るとともに、平成30年度には東京オリンピック・パラリンピックの展示を都内公共図書館と共同実施しPRを行いました。また、ひきふね図書館開館後、活動を開始したひきふね図書館パートナーズ<sup>1</sup>の企画による子ども向けのワークショップ、中学生・高校生向けに「おもてなし課」<sup>2</sup>の活動を実施し、ボランティアとの連携・協力を進めています。

事業名	平成25年度	平成30年度	増減
子ども向けワークショップ（新規）開催数[回]	—	1	—
おもてなし課の活動（新規）開催数[回/月]	—	1	—

エ 学校図書館との連携・協力については、小学校及び中学校の学校図書館に学校司書<sup>3</sup>の配置日数を増やしたほか、ひきふね図書館が学校図書館連携システム<sup>4</sup>の管理・運用を行っています。また、調べる学習コンクール相談会への協力を行うとともに、平成29年度から図書館担当教諭研修会をひきふね図書館で開催しています。さらに、同年から学校司書意見交換会も新たに開催し、学校図書館運営を支援しています。

事業名	平成25年度	平成30年度	増減
小・中学校図書館に学校司書の配置 配置日数[日/週]	1	2	100%増
学校司書意見交換会（新規）開催数[回]	—	1	—

1 「ひきふね図書館パートナーズ」：図書館に望ましい事業・サービスを利用者目線で考え、実現するための企画を提案し、図書館と協働で実施しているボランティア組織です。

2 「おもてなし課」：人が集まる楽しい図書館を目指した企画を考え活動する中学生及び高校生のボランティアです。

3 「学校司書」：図書管理、選書、除籍業務のほか、学校図書館の利用を進めるとともに、授業への協力を行います。

4 「学校図書館連携システム」：学校図書館と区立図書館が連携し、貸出・返却・検索等の機能を持つコンピューターシステムです。

オ 児童図書等の再利用の促進については、児童書のリサイクル図書の配布冊数<sup>5</sup>を増加しました。

児童書のリサイクル図書	平成 25 年度	平成 30 年度	増減
配布冊数[冊]	2,053	8,506	314%増

### (3) 課題

- ア 子どもの読書活動の担い手が不足が見込まれるため、養成が必要です。
- イ 学校図書館の整備には、図書の充実に加えて、司書教諭や学校司書との情報共有を図りつつ、学校図書館の運営を行う必要があります。

## 第2 学校における子どもの読書活動の推進

### 1 取組

- (1) 児童・生徒の読書習慣の確立、読書指導の充実
- (2) 家庭・地域との連携による読書活動の推進
- (3) 子どもの読書活動の推進のための学校図書館等の機能強化
- (4) 学校図書館の資料、施設・設備等の整備・充実
- (5) 学校図書の活用を推進していくための人的配置の推進

### 2 成果

- (1) 児童・生徒の読書習慣の確立、読書指導の充実については、学校図書館の全体計画、年間指導計画を作成し、取組を進めてきました。

調べる学習コンクールに参加する小学生・中学生が増加したほか、ビブリオバトル<sup>6</sup>大会を開催しました。また、不読率<sup>7</sup>も一部の学年で改善が見られましたが、中学生では不読率の改善が進んでいない状況です。

調べる学習コンクール	平成 25 年度	平成 30 年度	増減
応募件数 (件)	4,037	5,164	27.9%増

<sup>5</sup>「リサイクル図書の提供」：図書館で除籍になった図書で、再利用が可能なものを無料で配布しています。

<sup>6</sup>「ビブリオバトル」：発表参加者がお気に入りの本を持ち寄り、その面白さ等を5分程度で発表し合い、一番読みたくなった本を、参加者の投票により決定する読書活動です。

<sup>7</sup>「不読率」：小学生3・4年生は1週間、小学校5年生以上は1か月に1冊も本を読まなかった児童・生徒の割合です。

不読率	計画策定時 (25年度)	30年度
小学校3年生	24.2%	17.6%
小学校4年生	22.6%	20.2%
小学校5年生	18.1%	17.2%
小学校6年生	23.1%	23.0%
中学校1年生	20.5%	15.9%
中学校2年生	23.0%	24.0%
中学校3年生	28.6%	30.5%

(2) 家庭・地域との連携による読書活動の推進については、保護者を中心に読み聞かせ等に関するボランティア活動を進めました。

(学校におけるボランティア活動内容(平成29年度調査))

- ・活動回数 主に週1回または隔週1回
- ・活動内容 主に読み聞かせ、図書整理、図書の展示

(3) 子どもの読書活動の推進のための学校図書館等の機能強化については、教科のテーマに応じた授業への資料提供と関連した図書の展示を行い、調べ学習の支援を進めました。

(4) 学校図書館の資料、設備等の整備・充実については、学校図書館図書標準<sup>8</sup>の達成を目指して、図書購入を進めています。また、書架増設等の設備改善を行うとともに、図書の充実を図ったことにより団体貸出冊数が増加しました。さらに、図書検索、蔵書管理の効率化を図る学校図書館連携システムの適切な運用を行っています。

学校図書館 図書標準	平成25年度	平成30年度	増減
小学校平均	117.5%	120.1%	2.6ポイント増
中学校平均	69.5%	94.5%	25.0ポイント増

学校への団体貸出	平成25年度	平成30年度	増減
貸出冊数[冊]	6,000	30,879	414.7%増

(5) 学校図書の活用を推進していくための人的配置については、小学校及び中学校の学校図書館に、学校司書を週2日(令和元年度から一部の小学校については週3日)配置しました。このことにより、学校図書館の一人あ

<sup>8</sup> 「学校図書館図書標準」: 公立義務教育諸学校の学校図書館に整備すべき蔵書の標準として、文部科学省が平成5年3月に定めました。

たりの図書貸出冊数が増加しました。

学校図書館の一人あたりの貸出冊数[冊]	平成 25 年度	平成 30 年度	増減
小学校	27.8	36.7	32.0%増
中学校	1.4	2.3	64.2%増

### 3 課題

- ア 中学生の不読率の改善の伸び悩みについては、子どもが自分の興味や関心がある分野に熱中したり、部活動や進学等で読書する時間が確保しにくくなることで、相対的に読書への関心が低くなる子どもが増えることの影響が考えられます。また、小学校高学年段階での不読率の状況から、十分な読書習慣を身に付けていない子どももいます。学校が、一人ひとりの興味や関心を把握したうえで、読書への関心を高める取組を行い、読書習慣を形成する必要があります。
- イ 学校図書館においては、蔵書の分類になお偏りが残されていること、中学校の一部には、学校図書館図書標準が達成途上にあることや読書スペースの狭隘、設備の老朽化など整備の必要があります。個別の学校図書館の状況に応じた整備が必要です。

## 第3 資料等の充実による子どもの読書活動の推進

### 1 取組

- (1) 区立図書館等の資料の整備・職員の能力向上
- (2) 障害のある子どもための環境の整備・充実
- (3) 地域資料サービスの充実

### 2 成果

- (1) 区立図書館等の資料の整備については、子どもや保護者からのリクエストを踏まえ、児童書の選書を行うとともに調べる学習コンクール作品及び子育て資料の展示コーナーを設け、利用しやすいよう工夫しました。また、青少年向けの TS（ティーンズ）コーナーを設け、中学生・高校生が図書館を利用しやすい環境づくりを行いました。

職員の能力向上を図るために、毎年、図書館員が司書資格取得講習を受

講するとともに、都立図書館や日本図書館協会の研修を受講しました。

- (2) 障害のある子どものための環境の整備・充実については、児童発達支援及び放課後等デイサービス事業所への出張読み聞かせに新たに取り組むとともに、マルチメディアデイジー図書<sup>9</sup>、L.Lブック<sup>10</sup>などの障害者向け図書の充実を進めました。

障害児通所支援の施設	平成 25 年度	平成 30 年度	増減
読み聞かせ施設数[施設]	—	3	—

- (3) 地域資料サービスの充実については、図書館ホームページに地域資料及び子ども専用のページを設け、利便性の向上を図りました。

### 3 課題

ア 資料の充実の取組については、区立図書館・図書室の児童図書の充実を図るとともに、児童図書に関するレファレンス<sup>11</sup>を適切に行えるよう図書館員の専門的能力を高める必要があります。

イ 障害のある子どものための資料整備を進めるとともに、読書の楽しさを体験してもらい、読書を好きになってもらうために読書活動を支援する必要があります。

## 第4 広報・啓発等による子どもの読書活動の推進

### 1 取組

(1) 「子ども読書の日」(4月23日)、「文字・活字文化の日」(10月27日)に合わせた、読書に関する行事の実施及び読書活動の啓発

(2) 図書館ホームページに、児童及び青少年向け図書、おすすめ図書の情報や行事の情報を掲載

### 2 成果

読書関係の記念日を中心に読書に関する行事を実施し、図書館ホームペー

<sup>9</sup> 「マルチメディアデイジー図書」：音声と音声に合わせたテキストや画像を同期させ画面に表示するデジタル図書です。

<sup>10</sup> 「L.Lブック」：文字を読んだり、本の内容を理解したりすることが苦手な人が優しく読めるよう、写真や絵、わかりやすい文章などを用いて内容が分かりやすく書かれた図書です。

<sup>11</sup> 「レファレンス」：図書館利用者が必要な資料や情報を求めた場合に図書館員が資料検索を援助し資料を提供しあるいは回答するなど、利用者と資料とを結びつける図書館業務です。

シにおいて、子ども読書活動に関する情報を得やすい環境を作りました。

### 3 課題

ア 子どもの区立図書館・図書室利用を進めるために、日頃、図書館利用から遠ざかっている子どもに対して、地域のイベントなどを利用し、リサイクル図書の配布などを通じて、直接読書活動を PR する取組を進める必要があります。

## 第5 到達すべき数値目標・実績

### 1 区立図書館・図書室の児童書及び絵本の貸出冊数(冊)

貸出冊数(冊)	計画策定時 (25年度)	30年度	目標値 (31年度)	達成率 (30年度比)
		520,000	652,889	572,000

### 2 区立図書館・図書室の対象者別の延べ貸出者数と延べ貸出冊数

対象者		計画策定時 (25年度)	30年度	目標値 (31年度)	達成率 (30年度比)
0～6歳	貸出者数(人)	11,095	16,627	12,204	136.2%
	貸出冊数(冊)	53,136	67,129	58,449	114.9%
7～12歳	貸出者数(人)	48,417	47,286	53,258	88.8%
	貸出冊数(冊)	155,435	151,257	170,978	88.5%
13～15歳	貸出者数(人)	9,727	10,824	10,699	101.2%
	貸出冊数(冊)	25,638	28,721	28,201	101.8%
16～18歳	貸出者数(人)	7,178	5,997	7,895	76.0%
	貸出冊数(冊)	17,277	14,380	19,004	75.7%
合計	貸出者数(人)	76,417	80,734	84,056	96.0%
	貸出冊数(冊)	251,486	261,487	276,632	94.5%

### 3 学校への団体貸出冊数(冊)

	計画策定時 (25年度)	30年度	目標値 (31年度)	達成率 (30年度比)
小学校	6,000	28,907	30,000	-
中学校		1,972		
合計	6,000	30,879	30,000	102.9%

### 4 児童・生徒一人あたりの学校図書館 個人への年間貸出冊数(冊)

	計画策定時 (25年度)	30年度	目標値 (31年度)	達成率 (30年度比)
小学校	27.8	36.7	40	91.8%
中学校	1.4	2.3	10	23.0%

※学校図書館連携システムによる貸出冊数(学校図書館内のみの利用冊数は含まない)

### 5 区立小学校(3～6年生)区立中学校の児童・生徒の不読率

	計画策定時 (25年度)	30年度	目標値 (31年度)	達成率 (30年度比)
小学校3年生	24.2%	17.6%	15.0%	85.2%
小学校4年生	22.6%	20.2%	15.0%	74.3%
小学校5年生	18.1%	17.2%	15.0%	87.2%
小学校6年生	23.1%	23.0%	15.0%	65.2%
中学校1年生	20.5%	15.9%	15.0%	94.3%
中学校2年生	23.0%	24.0%	20.0%	83.3%
中学校3年生	28.6%	30.5%	20.0%	65.6%

(「墨田区学習状況調査の総合意識調査(i-check)」)

※不読率： 小学校3・4年生は1週間、小学校5年生以上は1か月に1冊も読まなかった割合

### 第3章 子ども読書活動推進計画（第4次）

#### 第1 基本方針

前計画（第3次計画）では、家庭、地域、学校、図書館等での取組が着実に進められた一方で、不読率の改善を図ることが主な課題として上ってきました。

「子供の読書活動の推進に関する基本的な計画」（平成30年4月、文部科学省）では、「乳幼児期から、子供の実態に応じて、子供が読書に親しむ活動を推進していく必要がある。」として、不読率の改善については、読書習慣の形成を一層効果的に図るとともに、読書の関心度合いが上がるような取組を推進する必要があるとしています。また、「第三次東京都子供読書活動推進計画」（平成27年2月、東京都教育委員会）では、不読率の更なる改善、読書の質の向上、読書環境の整備の3つを基本方針として取組を進めています。

こうした国及び都の計画を基本として、これまでの取組の成果と課題を踏まえた上で、条例第3条（基本理念）に基づき、次のとおり基本方針を定めます。

#### （基本方針）

読書を通じて、子どもが生きる力を育み、健やかに成長し、豊かな人生を送ることができるように、家庭、地域、学校、図書館等が連携して読書習慣の形成を図るとともに、読書環境の整備に取り組みます。

## 第2 基本目標

基本方針に沿った取組を行うため、次のとおり本計画の基本目標を定め、子どもの読書活動の推進に関わる施策を総合的かつ計画的に、家庭、地域、学校、図書館等が連携・協力して推進します。

### 1 読書活動の機会の充実と啓発

発達段階に応じた読書習慣の形成を図るために、家庭、地域、学校、図書館等の連携・協力により、読書活動の機会の充実と啓発を行います。

### 2 読書環境の整備

家庭、地域、学校、図書館等の連携・協力により、子どもの読書環境を整備します。また、学校図書館の整備と活用を図ります。

### 3 読書活動を支える人材育成

図書と子どもをつなぐ人材を育成し、読書活動の充実を図ります。

### 第3 発達段階に合わせた施策

本計画では、読書習慣の形成を図る上で、子どもの発達段階に応じた読書活動を進めていくために、次のとおり子どもの発達段階に合わせた4つの施策を進めます。

#### 1 乳幼児期の施策

家庭や地域での読み聞かせ等を通じて、子どもが図書の豊かな言葉や世界と出会えるような施策を進めます。

#### 2 小学生期の施策

学校図書館での授業や調べ学習を通じて、図書を選ぶ楽しさ、読書を通じた活動の面白さを味わえるような施策を進めます。

#### 3 中学生・高校生期の施策

家族や友人等とのコミュニケーションを通じて、論理的な思考を養い、自らの考えを深めるような施策を進めます。

#### 4 特別な支援を必要とする子どもの施策

特別な支援を要する子どもに十分配慮して、障壁のない読書サービスの提供を進めます。

## 第4章 子ども読書活動推進のための施策

子ども読書活動推進のための施策は、子どもの発達段階に合わせて、乳幼児期、小学生期、中学生・高校生期及び特別な支援を必要とする子どもの4つに区分して「施策の目標値」を設定しました。また、施策の実施にあたり、基本目標の項目ごとに、家庭、地域、学校、図書館等で取り組む事業を明らかにするとともに、事業ごとの目標を設定します。

### 第1 乳幼児期の施策

乳幼児期においては、保護者からの読み聞かせなど、一緒に絵本に触れ、時間を共有することで豊かな感情が育まれるとともに、保護者からの愛情を感じ、絆を深めることに繋がります。乳幼児期の読書活動は、保護者とのかわりりが子どもの興味に大きく関係することから、保護者が積極的に子どもに楽しく読書活動を進めることが大切です。

施策の目標値	<ul style="list-style-type: none"><li>• 乳幼児の延べ貸出者数を1.5倍にします。 平成30年度 16,627人⇒令和6年度 25,000人</li><li>• 乳幼児への延べ貸出冊数を1.5倍にします。 平成30年度 67,129冊⇒令和6年度 101,000冊</li></ul>
--------	---

#### 1 読書活動の機会の充実と啓発

家庭においては、図書を介して子どもと心を通わせる機会を持つことが大切です。地域の施設<sup>12</sup>や区立図書館・図書室<sup>13</sup>では、保護者が子どものために進んで図書を選び、読み聞かせができるように支援します。地域の行事において読書の啓発活動やブックスタート事業<sup>14</sup>を行います。また、おうちDeどくしょノート<sup>15</sup>を活用した取組、絵本のレファレンスやブックリスト<sup>16</sup>の配布を通じて、子どもの発達段階に応じた図書に関する情報提供を行います。

<sup>12</sup> 「地域の施設」：保育園、幼稚園、児童館、子育てひろば等の施設を指します。

<sup>13</sup> 「区立図書館・図書室」：墨田区立図書館・コミュニティ会館図書室を指します。

<sup>14</sup> 「ブックスタート事業」：読書のきっかけづくりのために、乳幼児健診で絵本を開く楽しい体験と絵本をセットでプレゼントする事業です。墨田区では保健センターの乳幼児健診時に図書館・図書室が実施しています。

<sup>15</sup> 「おうちDeどくしょノート」：親子の読書活動を進めるために、図書館が作成し、配布している親子で記入する読書ノートです。

<sup>16</sup> 「ブックリスト」：年齢層やテーマに沿った、図書館が薦める図書リストです。

## ア 家庭での取組

望まれる取組
わらべうたや絵本の読み聞かせをして、子どもが言葉や読書に興味・関心を向けてもらえるようにします。
図書館で子どもと一緒に楽しく図書を選びます。
子どもが興味を示す図書を読み聞かせます。
おうち De どくしょノートを活用して、家族と一緒に読書を楽しみます。
保護者や家族等が互いに図書を紹介し合ったり、子どもの読書の様子を話したりします。

## イ 地域の施設での取組

事業	指標	平成 30 年度 現状	令和 6 年度 目標
定期的な読み聞かせ	—	実施	実施
保護者も参加する行事におけるブックトーク 【新規】	—	—	実施
図書館見学	—	実施	実施

## ウ 区立図書館・図書室の取組

事業	指標	平成 30 年度 現状	令和 6 年度 目標
児童書及び絵本の利用推進【拡充】	児童書及び絵本の貸出冊数	652,889冊	980,000冊
絵本に関するレファレンス	—	実施	実施
絵本に関する情報提供【拡充】	ブックリスト配布数	4,000枚	4,500枚
お話し会、工作会の開催【拡充】	開催数	421回	500回
ブックスタート事業	—	実施	実施

## 2 読書環境の整備

家庭においては、子どもへの読み聞かせや子どもが手軽に図書を取れるようにすることが大切です。また、地域の施設においては、保育園と幼稚園等の施設の状況に応じて団体貸出を行い、読書活動が円滑に行われるよう読書の環境整備を進めます。さらに、区立図書館・図書室においては、児童書の充実とともに、絵本・子育て関連図書の貸出セットを用意し、保護者が手軽に図書を借りられるよう読書の環境整備を進めます。

## ア 家庭での取組

望まれる取組
家族が一緒に読書する機会をもち、子どもが手軽に図書を取れるようにします。

## イ 地域の施設での取組

事業	指標	平成30年度 現状	令和6年度 目標
保育所保育指針等に基づく読書に親しむ環境づくり	—	実施	実施
乳幼児向け図書の整備	—	実施	実施
団体貸出を利用した図書の充実【拡充】	登録施設数	76施設	106施設 (幼稚園、保育園、認定こども園、児童館、児童施設等)

## ウ 区立図書館・図書室の取組

事業	指標	平成30年度 現状	令和6年度 目標
児童書及び絵本の収集と提供【拡充】	児童書及び絵本冊数	217,013冊	241,000冊
リサイクル図書の提供	—	実施	実施
本棚の作り方のPR【新規】	—	—	実施
絵本・子育て関連図書の貸出セット【新規】	セット数	—	100セット

## 3 読書活動を支える人材育成

家庭においては、保護者がお話し会や読書の講座を通じて、読書の楽しさを体験し、また、子どもがどのような図書に興味をもっているのかを知ること、子どもへの読み聞かせを行うきっかけとなります。地域の施設では、職員の読み聞かせ技術の向上や読み聞かせボランティアの活用を図ります。また、区立図書館・図書室では、読み聞かせボランティア養成講座の開催、図書館員の絵本のレファレンス研修やブックトークなどの技法の研修に取り組みます。

ア 家庭での取組

望まれる取組
お話し会や読書の講座に参加し、子どもがどのような図書に興味をもっているのかを知ります。

イ 地域の施設での取組

事業	指標	平成30年度 現状	令和6年度 目標
施設職員の読み聞かせ技術の向上【新規】	—	—	実施
読み聞かせボランティアの活用	—	実施	実施

ウ 区立図書館・図書室の取組

事業	指標	平成30年度 現状	令和6年度 目標
読み聞かせボランティア養成講座【拡充】	開催数	1回	4回
絵本のレファレンス研修【新規】	開催数	—	1回
ブックトーク <sup>17</sup> 、ストーリーテリング <sup>18</sup> 等の技法の研修【新規】	—	—	実施

17 「ブックトーク」：グループを対象として数冊の図書を紹介し、聞き手に読書意欲を起こさせることを目的とした読書活動です。

18 「ストーリーテリング」：物語を覚えて子どもたちに対して語ること。文字を十分に読めない子どもでも物語を楽しむことができることから、読書への導入手段として用いられます。「素話」とも呼びます。

## 第2 小学生期の施策

乳幼児期に引き続き、家庭では読み聞かせを行い、子どもと一緒に本を読んだり、一緒に図書館を利用したりするなど、子どもが読書に親しむきっかけを作ることが重要となります。また、読書を通じて家族で感じたことや考えたことを話し合い、読書に対する興味や関心を引き出すように子どもに働きかけることが大切です。さらに、地域では、子どもが読書を楽しめるような環境づくりが必要です。

そして、学校においては、学習の基盤となる言語能力や情報活用能力を向上させるために、「主体的・対話的で深い学び」（新学習指導要領）の視点から、学校図書館を活用した授業や調べ学習を中心とした読書活動に取り組みます。

施策の目標値	不読率を平成25年度と比べて令和6年度末に半減させます。			
	不読率	平成25年度 実績	平成30年度 実績	令和6年度 (目標値)
	小学校3年生	24.2%	17.6%	12.1%
	小学校4年生	22.6%	20.2%	11.3%
	小学校5年生	18.1%	17.2%	9.1%
	小学校6年生	23.1%	23.0%	11.6%
	中学校1年生	20.5%	15.9%	10.3%
	中学校2年生	23.0%	24.0%	11.5%
	中学校3年生	28.6%	30.5%	14.3%

### 1 読書活動の機会の充実と啓発

家庭においては、「おうちDeどくしょノート」を活用し、家族と一緒に読書を楽しみ、家族の愛読書や読書で面白かった読書経験を子どもに伝えることで、子どもに「読書は楽しく面白いものである。」と感じてもらうことが大切です。また、地域の施設でも読み聞かせやブックトーク、図書館見学を通して、子どもが図書に触れる機会を増やすことが必要です。

学校においては、不読率の改善のために、読書の楽しさを教えるとともに、子どもが読書により多くの知識を得たり、多様な文化があることを理解することが大切です。そのためには、学校図書館の全体計画、年間指導計画に基づく学習活動のなかで、国語の授業や学級指導における読書指導と合わせ、他の授業の学習内容とも関連付けた積極的な学校図書館活用を図ることが必要です。

そこで、授業における学校図書館の活用、読書に関する啓発活動を通して、読書に親しむ機会を持つよう取り組みます。また、区立図書館・図書室においては、ブックリストで子どもと保護者に図書を紹介するとともに、お話し会や工作会を通じて、読書活動の啓発と機会の提供に取り組みます。

#### ア 家庭での取組

望まれる取組
子どもと図書館に行き、図書館利用を勧めます。
子どもが興味を示す図書を読み聞かせます。
おうち De どくしょノートを活用して家族と一緒に読書を楽しみます。
子どもに家族の愛読書や面白かった読書経験を伝えます。
保護者や家族等が互いに図書を紹介し合ったり、子どもの読書の様子を話したりします。

#### イ 地域の施設での取組

事業	指標	平成 30 年度 現状	令和 6 年度 目標
定期的な読み聞かせ	—	実施	実施
ブックトークやアニメーション <sup>19</sup> の実施	—	実施	実施
図書館見学	—	実施	実施

#### ウ 学校の取組

事業	指標	平成 30 年度 現状	令和 6 年度 目標
読書指導	—	実施	実施
朝読書等	—	実施	実施
授業における学校図書館活用の推進	—	実施	実施
下級生や幼稚園及び保育園の園児への読み聞かせ	—	実施	実施
図書委員会活動での図書の展示や紹介	—	実施	実施
図書館見学	—	実施	実施
学校図書館でのお話し会の実施	—	実施	実施

<sup>19</sup> 「アニメーション」：子どもが読書の楽しさを伝え、子どもの読む力を引き出そうと開発・体系化した読書活動です。

読書マラソン <sup>20</sup>	—	実施	実施
季節等に合わせたお薦め図書の展示	—	実施	実施
ブックトークやアニメーションの実施	—	実施	実施
調べる学習コンクールへの参加	—	実施	実施

## エ 区立図書館・図書室の取組

事業	指標	平成30年度 現状	令和6年度 目標
児童書及び絵本の利用推進【拡充】	児童書及び絵本の貸出冊数	652,889冊	980,000冊
小学生の図書館利用の推進【拡充】	延べ貸出者数	47,286人	71,000人
同上	延べ貸出冊数	151,257冊	227,000冊
児童書に関する情報提供【拡充】	ブックリスト配布数	16,000枚	16,700枚
パスファインダー <sup>21</sup> の製作と配布【新規】	種類数	—	100種類
お話し会、工作会の開催【拡充】	開催数	30回	40回

## 2 読書環境の整備

家庭においては、ブックリストを参考に一緒に子どもの選書を手伝うことや子どもが手軽に図書を取れるようにします。また、地域の施設においては、子どもが手軽に読書できる環境の整備を進めます。

学校においては、学校司書の配置の充実を図るとともに、調べ学習に役立つ図書の整備、学校図書館オリエンテーション<sup>22</sup>に取り組むほか、蔵書の分類に偏りがないように配慮し、学校図書館の蔵書の充実を進めます。そして、区立図書館・図書室において、児童書の充実を更に進めます。

<sup>20</sup> 「読書マラソン」：図書を読んで冊数やページ数を記録し、自分で設定した目標に向かって、マラソンのように自分のペースで読書を進める読書活動です。

<sup>21</sup> 「パスファインダー」：特定のトピックや主題に関する資料や情報を収集する際に、図書館が提供できる関連資料の探索法を一覧できるリーフレットです。

<sup>22</sup> 「学校図書館オリエンテーション」：学校司書が、学校図書館利用のために図書資料の種類や配列や貸出方法等を案内することです。

ア 家庭での取組

望まれる取組
ブックリストを参考に子どもが選書を手伝います。
家族と一緒に読書する機会をもち、子どもが手軽に図書を取れるようにします。

イ 地域の施設での取組

事業	指標	平成30年度 現状	令和6年度 目標
児童向け図書の整備	—	実施	実施
団体貸出を利用した図書の充実【拡充】	登録施設数	9施設	16施設 (児童館、児童施設等)

ウ 学校の取組

事業	指標	平成30年度 現状	令和6年度 目標
学校図書館年間指導計画に基づく運営	—	実施	実施
学校司書の配置の充実【拡充】	配置日数	週2日	週3日
調べ学習用図書の整備	—	実施	実施
学校図書館オリエンテーションの実施	—	実施	実施
学級文庫の整備	—	実施	実施

エ 学校図書館の整備

事業	指標	平成30年度 現状	令和6年度 目標
学校図書館の利用推進【拡充】	児童一人あたりの年間貸出冊数	36.7冊	55冊
蔵書の管理	図書標準達成率	120.1%	維持
選書及び除籍の管理	—	実施	実施
新聞の設置【拡充】	設置学校数	12校	25校 (小学校)

オ 区立図書館・図書室の取組

事業	指標	平成30年度 現状	令和6年度 目標
児童書及び絵本の収集と提供【拡充】	児童書及び絵本冊数	217,013冊	241,000冊
リサイクル図書の提供	—	実施	実施

### 3 読書活動を支える人材育成

家庭においては、お話し会等の参加を通じて子どもがどのような図書に興味をもっているのかを知ることが大切です。また、地域の施設においては、読み聞かせ等を行うボランティアなど、地域の幅広い人材の活用を図ります。さらに、読書活動の担い手として施設の職員の読み聞かせ技術の向上を図ります。

学校においては、子どもの読書活動を推進するために読み聞かせボランティアを活用します。そして、区立図書館・図書室においては、児童書のレファレンス研修を行い、図書館員の専門性を高めます。

#### ア 家庭での取組

望まれる取組
お話し会や読書の講座に参加し、子どもがどのような図書に興味をもっているのかを知ります。

#### イ 地域の施設での取組

事業	指標	平成30年度 現状	令和6年度 目標
読み聞かせボランティアの活用	—	実施	実施
施設職員の読み聞かせ技術の向上【新規】	—	—	実施

#### ウ 学校の取組

事業	指標	平成30年度 現状	令和6年度 目標
読み聞かせボランティアの活用	—	実施	実施

#### エ 区立図書館・図書室の取組

事業	指標	平成30年度 現状	令和6年度 目標
児童書のレファレンス研修【新規】	開催数	—	1回

### 第3 中学生・高校生期の施策

中学生・高校生期においては、自分独自の内面の世界に気づき、自意識と客観的事実の違いに悩み、様々な葛藤の中で、自らの生き方を模索する時期を迎えます。また、大人との関係よりも友人関係に強い意味を見出すとともに、保護者に対する反抗や家庭でのコミュニケーションが不足しがちになるなど、思春期特有の課題も現れます。

共感や感動する図書を選んで読むことや、自己の将来について考え始めることから、読書を将来に役立てたいと思うようになるなど、読書の目的、図書の種類や知的興味に応じ、一層幅広く、多様に読書を始める年代になります。

一方で、自分の興味や関心がある分野にのみ熱中する傾向もあることや、部活動や進学・就職準備等で読書する時間が確保しにくくなる時期でもあるため、相対的に読書の関心度合いが低くなる子どもが増えることで、図書を読まなくなる傾向にあります。

また、小学校段階までに十分な読書習慣を身に付けていない子どももいます。

中学生・高校生期の子どもの読書の関心を高めるためには、教科の学習の中で図書を活用する取組や、読書が自己の将来につながるものであることに気づかせ、読む図書の幅を広げる機会を設ける取組、友人などの同世代の人とのつながりを生かす取組により、読書の魅力や意義、有用性などについての理解を一層深めるとともに、繰り返し読みたくなるような心に残る図書と出合わせていくことが効果的です。

また、読書の時間が確保しにくくなるという生活環境の変化については、子どもに読書の工夫をアドバイスすることも必要です。

施策の目標値	不読率を平成25年度と比べて令和6年度末に半減させます。			
	不読率	平成25年度 実績	平成30年度 実績	令和6年度 (目標値)
	小学校3年生	24.2%	17.6%	12.1%
	小学校4年生	22.6%	20.2%	11.3%
	小学校5年生	18.1%	17.2%	9.1%
	小学校6年生	23.1%	23.0%	11.6%
	中学校1年生	20.5%	15.9%	10.3%
	中学校2年生	23.0%	24.0%	11.5%
	中学校3年生	28.6%	30.5%	14.3%

## 1 読書活動の機会の充実と啓発

子どもの読書への関心を高めるために、家庭においては、子どもに図書館利用を勧め、家族の愛読書や面白かった読書経験を伝えることで、子どもの読書への関心を高めることが大切です。また、地域の施設では、ブックトークやアニメーションを通じて、読書の楽しさや興味を覚えてもらう取組を進めます。

学校においては、学校教育の中で読書の楽しさを教えるとともに、読書により多様な価値観を獲得できるものであることを子どもに実感させることが大切です。さらに、不読率の改善のために、学校図書館の全体計画、年間指導計画に基づく学習活動のなかで、国語科や学級指導における読書指導と合わせ、他の教科の学習内容とも関連付けた積極的な図書館活用を図ることが必要です。

教科学習の中で図書を活用する取組としては、国語科の読書指導では、語彙を増やすために、同じようなテーマの複数の図書を読むことで、作品の違いや特徴、主題のとらえ方の違いを理解し、文章中の同じ感情を表す言葉でも作者によって表現の違いがあることを学ぶことを進めます。また、他の教科においても、学習活動における課題や疑問について、図書館資料を活用した調べ学習方法を身に付けていくとともに、夏休みの自由研究においても「図書館を使った調べる学習」を行い、子どもの興味・関心による図書の活用を図っていきます。

そして、読書が自己の将来につながるものであることに気づかせ、読む図書の幅を広げる機会を設ける取組としては、個々の子どもの考え方と感受性等をきめ細かく配慮し、一人ひとりの興味・関心を把握したうえで、その興味・関心に関わる図書を子どもに薦めることを行います。例えば、子どもが好きな作家の図書を薦めたり、子どもが野球やサッカーなどのスポーツに興味がある場

合、上達法や現在活躍している選手のことが書かれている図書を薦めたり、ゲームに興味がある子どもにはゲームを題材とした図書を薦めることや、読みたい本が見つからない子どものためにすぐに図書が手に取れる学級文庫におすすめのコメント文をつけて配架するなど、子どもの読書への関心が高まるよう取り組みます。また、学級指導においても、受験勉強に集中している時や友人関係に悩んだ時などに、先人の伝記や友情などのテーマごとの推薦図書リストを作成し、子どもに読書を勧めることで、子どものやる気や心の安定を促すことも期待されます。このほか、将来の職業選択につながる図書などを進路指導及びキャリア教育の一環として扱うことも有効です。

さらに、友人などの同世代の人とのつながりを生かす取組としては、ビブリオバトル大会や読書会の開催、図書委員会活動を通じて、同世代と読書の楽しさを体感できるように取り組むとともに、下級生や幼稚園及び保育園の園児への読み聞かせを通じて、多様な価値観に触れることができるようにします。

そして、図書館では、青少年向け図書に関する情報提供を行うとともに、子どもが読んだ図書の内容をイラストで紹介するPOPコンテストを開催し、子どもの読書活動の情報発信を支援するとともに、表彰することで読書意欲の向上を図ります。

このように家庭や地域、学校、区立図書館・図書室が連携・協力して、子どもが常に図書に接することができ、読書を楽しめる環境づくりを進めます。

#### ア 家庭での取組

望まれる取組	
子どもに図書館の利便性を話して利用を勧めます。	
子どもに家族の愛読書や面白かった読書経験を伝えます。	
保護者や家族等が互いに図書を紹介し合ったり、子どもの読書の様子を話したりします。	

#### イ 地域の施設での取組

事業	指標	平成30年度 現状	令和6年度 目標
ブックトークやアニメーションの実施	—	実施	実施

ウ 学校の取組

事業	指標	平成30年度 現状	令和6年度 目標
読書指導	—	実施	実施
朝読書等	—	実施	実施
授業における学校図書館活用の推進	—	実施	実施
下級生や幼稚園及び保育園の園児への読み聞かせ	—	実施	実施
図書委員会活動での図書の展示や紹介	—	実施	実施
生徒による読書会の開催	—	実施	実施
読書マラソン	—	実施	実施
季節等に合わせたお薦め図書の展示	—	実施	実施
ブックトークやアニメーションの実施	—	実施	実施
調べる学習コンクールへの参加	—	実施	実施
ビブリオバトル大会の開催	—	実施	実施

エ 区立図書館・図書室の取組

事業	指標	平成30年度 現状	令和6年度 目標
中学生の図書館利用の推進【拡充】	延べ貸出者数	10,824人	17,000人
同上	延べ貸出冊数	28,721冊	44,000冊
高校生等の図書館利用の推進【拡充】	延べ貸出者数	5,997人	9,000人
同上	延べ貸出冊数	14,380冊	22,000冊
青少年向け図書に関するレファレンス	—	実施	実施
青少年向け図書に関する情報提供【拡充】	ブックリスト配布数	18,000枚	20,000枚

パスファインダーの製作と配布【新規】	種類数	—	100種類
POPコンテスト（絵本以外）	—	実施	実施
POPコンテスト（絵本）【新規】	—	—	実施

## 2 読書環境の整備

家庭においては、ブックリストを参考に選書のアドバイスをすることや、短時間でも継続して読書する工夫をアドバイスすることが考えられます。例えば、すぐに図書を手に取れるようにしておくことや、文庫本を鞆に入れておくなどして、短い時間でも読書に親しめるよう働きかけます。

また、地域の施設においても、子どもが手軽に読書できる環境の整備を進めます。

学校においては、学校司書の配置とともに、蔵書の分類に偏りがないように配慮し、学校図書館図書標準による蔵書の充実を進めます。また、休み時間や放課後の読書を勧めます。そして、区立図書館・図書室においても、青少年向け図書を充実していきます。

### ア 家庭での取組

望まれる取組
ブックリストを参考に、選書のアドバイスをします。
短時間でも継続して読書できる工夫のアドバイスをします。

### イ 地域の施設での取組

事業	指標	平成30年度 現状	令和6年度 目標
青少年向け図書の整備	—	実施	実施
団体貸出を利用した図書の充実【拡充】	登録施設数	9施設	11施設 (児童館)

### ウ 学校の取組

事業	指標	平成30年度 現状	令和6年度 目標
学校図書館年間指導計画に基づく運営	—	実施	実施
学校司書の配置	—	実施	実施
調べ学習用図書の整備	—	実施	実施

学校図書館オリエンテーションの実施	—	実施	実施
学級文庫の整備	—	実施	実施

## エ 学校図書館の整備

事業	指標	平成30年度 現状	令和6年度 目標
学校図書館の利用推進【拡充】	生徒一人あたりの年間貸出冊数	2.3冊	10冊
蔵書の管理	学校図書館図書標準達成率	94.5%	100%
選書及び除籍の管理	—	実施	実施
新聞の設置【拡充】	設置学校数	4校	10校 (中学校)

## オ 区立図書館・図書室の取組

事業	指標	平成30年度 現状	令和6年度 目標
青少年向け図書の収集と提供【拡充】	—	実施	実施
リサイクル図書の提供	—	実施	実施

## 3 読書活動を支える人材育成

家庭においては、青少年向け図書のブックリストや読書の講座を通じて、子どもがどのような図書に興味を持っているのかを知ってもらうことが大切です。また、地域の施設においては、読書勉強会の参加など施設の職員が読書活動についての知識を深めるよう取り組みます。

学校においては、読み聞かせボランティアの活用を進めます。

区立図書館・図書室においては、中学生・高校生向け読書講座、図書館を使った情報活用講座を行います。

### ア 家庭での取組

望まれる取組
ブックリストや読書の講座を通じて、子どもがどのような図書に興味を持っているのかを知ります。

### イ 地域の施設での取組

事業	指標	平成30年度 現状	令和6年度 目標
施設職員の読み聞かせ技術の向上【新規】	—	—	実施

ウ 学校の取組

事業	指標	平成30年度 現状	令和6年度 目標
読み聞かせボランティアの活用【新規】	—	—	実施

エ 区立図書館・図書室の取組

事業	指標	平成30年度 現状	令和6年度 目標
中学生・高校生向け読書講座【新規】	開催数	—	4回
図書館を使った情報活用講座【新規】	開催数	—	2回
青少年向け図書に関するレファレンス研修【新規】	開催数	—	1回

#### 第4 特別な支援を必要とする子どもの施策

バリアフリーの視点から、身体及び知的等の障害やディスレクシア<sup>23</sup>等の学習障害により読書活動に支援が必要となる子ども及び外国にルーツを持つ子どもへの特別な支援を必要とする子どもの読書活動の取組を推進します。

施策の目標値	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 18歳以下の障害をもつ子どもの図書館サービスの利用を拡充します。</li> <li>平成30年度利用者7人⇒令和6年度300人</li> <li>• 外国語絵本の蔵書数を1.5倍に増やします。</li> <li>平成30年度末2,066冊⇒令和6年度3,000冊</li> </ul>
--------	---

##### 1 読書活動の機会の充実と啓発

家庭においては、子どもと一緒に読書を楽しんでもらうことが大切です。また、地域の施設及び学校においては、障害の内容及び程度に応じた読み聞かせに取り組みます。区立図書館においては、障害児向け図書のリファレンスや情報提供、外国語による読み聞かせ、外国語図書のリファレンスや外国にルーツを持つ子どもの図書館利用ガイダンスを行います。

###### ア 家庭での取組

望まれる取組
子どもと一緒に図書館を利用します。
子どもが興味を示す図書を読み聞かせます。
子どもと同じ図書を読んで、子どもと読書を楽しみます。

###### イ 地域の施設での取組

事業	指標	平成30年度 現状	令和6年度 目標
障害の内容及び程度に応じた読み聞かせ	—	実施	実施

###### ウ 学校の取組

事業	指標	平成30年度 現状	令和6年度 目標
特別支援学級での読み聞かせ	—	実施	実施

<sup>23</sup> 「ディスレクシア」：学習障害の一種で、知的能力及び理解能力などに異常がないにもかかわらず、字の読み書き学習に困難を抱える障害

## エ 区立図書館の取組

事業	指標	平成30年度 現状	令和6年度 目標
障害児向け図書のレファレンス及び情報提供	—	実施	実施
外国語による読み聞かせ	—	実施	実施
外国語図書に関するレファレンス及び情報提供	—	実施	実施
外国にルーツを持つ子どもの図書館利用ガイダンス【新規】	実施回数	—	4回

## 2 読書環境の整備

家庭においては、家族と一緒に読書する機会と子どもが手軽に図書を取れるようにします。また、地域の施設や学校においては、障害児向け図書を用意し、子どもが手軽に図書を取れる環境づくりをすることや団体貸出の利用による図書の充実を図ります。区立図書館では、障害の内容及び程度に応じた利用環境の整備を進めます。また、外国語図書の充実を進めます。

### ア 家庭での取組

望まれる取組
家族と一緒に読書する機会を持ち、子どもが手軽に図書を取れるようにします。

### イ 地域の施設での取組

事業	指標	平成30年度 現状	令和6年度 目標
障害児向け図書の整備	—	実施	実施
団体貸出を利用した図書の充実【拡充】	施設数	8施設	28施設 (児童発達支援・ 放課後等デイサー ビス事業所)

### ウ 学校の取組

事業	指標	平成30年度 現状	令和6年度 目標
障害児向け図書の整備	—	実施	実施

## エ 区立図書館の取組

事業	指標	平成30年度 現状	令和6年度 目標
障害の内容及び程度に応じた利用環境の整備	—	実施	実施
外国語図書の充実 【拡充】	外国語絵本の蔵書数	2,066冊	3,000冊

### 3 読書活動を支える人材育成

家庭においては、お話し会や読書の講座に参加し、子どもがどのような図書に興味を持っているのかを知ります。また、地域の施設においては、障害のある子どもへの読み聞かせ技術の向上に取り組むとともに、学校においては障害児の読み聞かせボランティアの活用を進めます。

区立図書館においては、障害児読み聞かせボランティアの養成と活動支援を進めます。また、外国にルーツを持つ子どもの読書相談等に対応できるように、外国語図書に関するレファレンスを行える人材を養成します。

#### ア 家庭での取組

望まれる取組
お話し会や読書の講座に参加し、子どもがどのような図書に興味をもっているのかを知ります。

#### イ 地域の施設での取組

事業	指標	平成30年度 現状	令和6年度 目標
施設職員の読み聞かせ技術の向上【新規】	—	—	実施

#### ウ 学校の取組

事業	指標	平成30年度 現状	令和6年度 目標
障害児読み聞かせボランティアの活用	—	実施	実施

エ 区立図書館の取組

事業	指標	平成30年度 現状	令和6年度 目標
障害児読み聞かせ読書ボランティアの養成【拡充】	—	実施	実施
外国語図書に関するレファレンス研修【新規】	開催数	—	2回

## 第5章 家庭、地域及び学校等での取組を支援するための施策

区立図書館は、子ども読書活動の推進に資するため、図書その他資料を確保するとともに、子どもに対して図書館奉仕の充実を図るほか、子ども読書活動推進のために、家庭、地域の施設、学校が行う読書活動の支援を更に拡充します。

そのための施策は、次の第1から第4までの4つとします。

### 第1 乳幼児期の読書活動を支援する施策

乳幼児期においては、出産前の方やその家族に対する読書活動の啓発、ブックリストの配布やブックスタート事業などの取組を通じて、家庭における読書活動を支援します。

また、保育園や児童館などが施設の状況やニーズに合わせて読書活動を進めることができるよう支援します。図書館員や読み聞かせボランティアによる出張読み聞かせや団体貸出などの支援に加えて、施設職員の読み聞かせ技術の向上を図る講座を開催します。

		事業	指標	平成30年度 現状	令和6年度 目標
家庭での取組を支援する施策	(1) 読書活動の機会の充実と啓発	出産準備クラス等の読書活動啓発【新規】	—	—	実施
		読書のすすめ講座【新規】	開催数	—	4回
		絵本に関する情報提供【拡充】	ブックリスト配布数	4,000枚	4,500枚
		おうちDeどくしょノートの配布【拡充】	ノート配布数	1,800部	2,000部
		ブックスタート事業	—	実施	実施
	(2) 読書環境の整備	親子で読書をするためのPR活動	—	実施	実施
	(3) 読書活動を支える人材育成	絵本に関する理解講座【拡充】	開催数	1回	4回

地域の施設での取組を支援する施策	(1) 読書活動の機会の充実と啓発	出張読み聞かせの開催【拡充】	施設数	1 施設	1 2 施設 (児童館)
		絵本に関する情報提供【拡充】	ブックリスト配布数	4,000 枚	4,500 枚
	(2) 読書環境の整備	団体貸出による読書環境の充実支援【拡充】	団体貸出冊数	10,276 冊	16,000 冊
		リサイクル図書の提供	—	実施	実施
	(3) 読書活動を支える人材育成	施設職員向け読み聞かせ技術講座【新規】	開催数	—	2 回

## 第2 小学生期の読書活動を支援する施策

小学生期においては、家庭への支援として、児童書のブックリスト、おうちDeどくしょノートを配布します。また、子どもたちに図書館利用の面白さ、楽しさを感じてもらおう図書館員体験を実施します。

地域の施設への支援として、児童館などが施設の状況やニーズに合わせた読書活動を進めることができるように支援します。出張読み聞かせや団体貸出などの支援に加えて、施設職員の読み聞かせ技術の向上を図るための講座を開催します。

学校への支援として、学校司書の配置の充実を図るとともに、学校図書館の授業活用が積極的に図られるように、調べ学習の支援や学校図書館の運営を支援します。また、学校図書館担当教諭研修会への支援をはじめ、学校司書と図書館司書との意見交換を行い、学校図書館運営についての情報共有を進めます。さらに、調べる学習コンクールでの個別相談会の実施や作品展示などを支援します。

		事業	指標	平成30年度 現状	令和6年度 目標
家庭での取組を支援する施策	(1) 読書活動の機会の充実と啓発	おうちDeどくしょノートの配布【拡充】	ノート配布数	1,800 部	2,000 部
		図書館員体験【拡充】	参加者数	10人	50人
		児童書に関する情報提供【拡充】	ブックリスト配布数	16,000 枚	16,700 枚

	(2) 読書環境の整備	親子で読書の啓発活動	—	実施	実施
	(3) 読書活動を支える人材育成	子どもの読書に関する講座【拡充】	開催数	3回	6回
地域の施設での取組を支援する施策	(1) 読書活動の機会の充実と啓発	出張読み聞かせの開催【拡充】	施設数	—	12施設(児童館)
		児童書に関する情報提供【拡充】	ブックリスト配布数	16,000枚	16,700枚
	(2) 読書環境の整備	団体貸出による読書環境の充実支援【拡充】	団体貸出冊数	3,168冊	4,800冊
		リサイクル図書の提供	—	実施	実施
	(3) 読書活動を支える人材育成	施設職員向け読み聞かせ技術講座【新規】	開催数	—	2回
		読み聞かせボランティア養成講座【拡充】	参加者数	57人	120人
学校での取組を支援する施策	(1) 読書活動の機会の充実と啓発	出張読み聞かせの開催	—	実施	実施
		調べ学習の支援	—	実施	実施
	(2) 読書環境の整備	学校司書の配置及び学校図書館運営支援【拡充】	配置日数	週2日	週3日
		選書支援	—	実施	実施
		団体貸出による読書環境の充実支援【拡充】	貸出冊数	28,907冊	43,500冊
		授業参考図書の整備	—	実施	実施
	(3) 読書活動を支える人材育成	読み聞かせボランティア養成講座【拡充】	参加者数	57人	120人
		学校図書館担当教諭研修会への支援	—	実施	実施
		学校司書意見交換会の開催【拡充】	開催数	1回	2回
		調べる学習コンクールでの個別相談会や作品展示への支援	—	実施	実施

### 第3 中学生・高校生期の読書活動を支援する施策

中学生・高校生期では、子ども自身が関心や興味に応じて必要な図書を自ら選び、読書を行う時期であることから、家庭への支援として、青少年向け図書に関する情報提供を行い、子どもと読書についての対話を心がけてもらう啓発を進めます。

地域の施設への支援として、児童館などが施設の状況やニーズに合わせた読書活動を進めることができるように支援します。図書館員や読み聞かせボランティアによる出張読み聞かせや団体貸出などの支援に加えて、施設職員の読み聞かせ技術の向上を図るための講座を開催します。

学校への支援として、学校司書の配置とともに、学習活動での学校図書館の活用を進めるために、調べ学習への支援や学校図書館の選書を支援します。また、学校図書館担当教諭研修会への支援をはじめ、学校司書と図書館司書との意見交換を行い、学校図書館運営についての情報共有を進めます。さらに、調べる学習コンクールでの個別相談会の実施や作品展示などを支援します。

		事業	指標	平成30年度 現状	令和6年度 目標
家庭での取組を支援する施策	(1) 読書活動の機会の充実と啓発	青少年向け図書に関する情報提供【拡充】	ブックリスト配布数	18,000 枚	20,000 枚
	(2) 読書環境の整備	読書についての啓発	—	実施	実施
	(3) 読書活動を支える人材育成	青少年向け読書に関する講座【新規】	開催数	—	4回
地域の施設での取組を支援する施策	(1) 読書活動の機会の充実と啓発	出張読み聞かせの開催【拡充】	施設数	—	11施設 (児童館)
		青少年向け図書に関する情報提供【拡充】	ブックリスト配布数	18,000 枚	20,000 枚

	(2) 読書環境の整備	団体貸出による読書環境の充実支援【拡充】	—	実施	実施
		リサイクル図書の提供	—	実施	実施
	(3) 読書活動を支える人材育成	施設職員向け読み聞かせ技術講座【新規】	開催数	—	2回
学校での取組を支援する施策	(1) 読書活動の機会の充実と啓発	出張読み聞かせ・ブックトークの開催	—	実施	実施
		調べ学習の支援	—	実施	実施
		ビブリオバトル大会への協力	—	実施	実施
		職場体験	—	実施	実施
	(2) 読書環境の整備	学校司書の配置及び学校図書館運営支援	—	実施	実施
		選書支援	—	実施	実施
		団体貸出による読書環境の充実支援【拡充】	貸出冊数	1,972冊	3,000冊
		授業参考図書の整備	—	実施	実施
	(3) 読書活動を支える人材育成	学校図書館担当教諭研修会への支援	—	実施	実施
		学校司書意見交換会の開催【拡充】	開催数	1回	2回
		調べる学習コンクールでの個別相談会や作品展示への支援	—	実施	実施

#### 第4 特別な支援を必要とする子どもの読書活動を支援する施策

家庭への支援として、子どもの障害の内容及び程度に応じた図書の情報提供を進めるとともに、読書を楽しんでもらえるように図書館ツアー<sup>24</sup>を行います。

地域の施設への支援として、児童発達支援及び放課後等デイサービス事業所で、子どもの障害の内容及び程度に応じた読み聞かせを実施します。また、さまざまな障害者向け資料を紹介するとともに、図書に触れる機会を提供します。具

<sup>24</sup> 「図書館ツアー」：図書館の書架や機器の紹介、バックヤードなどを巡り、図書館の機能を知り、図書館に関心をもってもらう案内事業です。

体的には、普通の活字の図書を読むことが苦手なディスレクシアの子どもに対して、マルチメディアデイジー図書の活用を進めるなど、すべての子どもが読書に親しめるように支援します。さらに、団体貸出による読書環境の充実を図るとともに、施設職員向けの読み聞かせ技術向上のための講座を開きます。

学校への支援としては、特別支援学級への出張読み聞かせを実施します。

		事業	指標	平成 30 年度 現状	令和 6 年度 目標
家庭での取組を支援する施策	(1) 読書活動の機会充実と啓発	障害児の図書館ツアー【新規】	参加回数	—	2回
		障害者図書に関する情報提供	—	実施	実施
	(2) 読書環境の整備	障害の内容及び程度に応じた読書相談【新規】	—	—	実施
	(3) 読書活動を支える人材育成	保護者向け読み聞かせ講座【新規】	開催数	—	2回
地域の施設での取組を支援する施策	(1) 読書活動の機会充実と啓発	出張読み聞かせの開催	—	実施	実施
		障害者向け資料の紹介	—	実施	実施
	(2) 読書環境の整備	団体貸出による読書環境の充実支援【拡充】	—	実施	実施
	(3) 読書活動を支える人材育成	施設職員向け障害児読み聞かせ技術講座【新規】	開催数	—	2回
学校での取組を支援する施策	(1) 読書活動の機会充実と啓発	出張読み聞かせの開催【新規】	実施校数	—	13校 (特別支援学級)